

館長室 ◆ ようこそ 24

『時間を大切に』

図書館長 古川 聡

大学の助手を経て、最初に専任講師として赴任したのは都内の私立薬科大学であった。初日、隣の部屋の先生に呼ばれて行くと、「古川君も今日から大学の教員だ、忘れないでいてほしいことがある。授業開始の遅くとも30分前には大学に来なさい。お湯を沸かしてコーヒーでも飲みなさい。その時に授業で話すところのノートやテキストに軽く目を通し、授業開始の5分前には教室に行きなさい。そして準備をして、ベルが鳴ったら授業を始めなさい」。

教育に携わる者にとって、これは至極当然のことだろう。自分にとっても学生にとっても時間を大切に使いなさい、教壇に立つことの厳しさを知りなさい、学生に真摯に向き合いなさい、ということだと私なりに解釈した。今の自分を振り返ると、可能な限りベルの前には教室に行っている。だが、それ以外の時間をしっかりと使っているだろうか。学生に真摯に向き合っているかという、忙しいことを理由にして逃げてはいないだろう

か。あの時の先生が今の私を目にしたら何とおっしゃるだろうか。

人間は、時計やテレビなど時刻に関する手がかりをすべて剥奪されて洞窟内で過ごす、1日を25時間ほどで生活するようになる。つまり、からだは本来25時間周期になっているのだ。だが明暗は24時間で変化しており、1日の長さもそう決まっている。そのため意識的に24時間周期で生活せざるをえない。わずか1時間かも知れないが、本来の姿よりもさらに密度を高めて生活しているといえる。

密度が濃くなっているからこそ、時間は大切に使わなければならないと思う。新入生のみなさんの大学生活も密度が濃いものに違いない。授業、レッスン、友だちとの合わせ、サークル、アルバイト。今という瞬間はどんどん後ろに遠ざかっていってしまう。今はすぐに過去になる。満ち足りた大学生活を過ごすためにも、一瞬一瞬を大切にしてほしい。

雑誌の部屋 15

「雑誌の部屋」は、当館が所蔵しているたくさんの雑誌を、もっとみなさんに手にとっていただけるよう紹介するコーナーです。

図書館のリニューアルに伴い、新刊雑誌は「ライブラリーホール」に置かれています。音楽和雑誌が60誌、一般和雑誌が28誌です。今号では、リニューアル後に新しく加わった雑誌をご紹介します。音楽和雑誌が1誌、一般和雑誌が4誌です。（Pから始まる数字は雑誌の請求番号です）

音楽和雑誌

リスアニ！ 季刊

● P5624……アニメソングの専門雑誌

一般和雑誌

OZ magazine 月刊

● P5627……日常を丁寧に過ごすことをメインメッセージとした女性誌

CUT 月刊

● P5625……映画、音楽、ファッションを中心に最新のカルチャー情報を提供

Pen 月2回刊

● P5628……ファッションからアート、映画や音楽など、「上質な日常はすぐそこにある」がコンセプト

MOE 月刊

● P5626……人気絵本・人気キャラクターをテーマとした特集が中心

